

学校法人 松樹学園

信州介護学校通信

第7号 平成27年4月発行

就任にあたり ご支援よろしくお願ひいたします

学校長 清水 祐三



過日(4月4日)、本校では新入生を迎える希望あふれる華やかな8年目の春を迎えることができました。これもひとえに保護者や地域の方々、施設等関係の皆様方のご理解やご支援のおかげであると改めてお礼申し上げます。

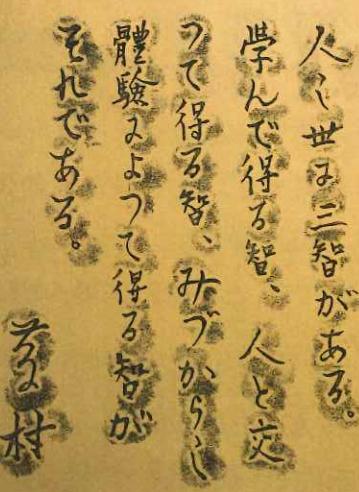
さて個人的なことで恐縮ですが、私、この4月より石田茂前学校長の後任としてお世話になることとなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。力量ある前学校長に比して浅学菲才の身であり、ことに介護や福祉に関しては全くの素人ですが、これまで長く教育現場に身を置かせていただいた一人として、精一杯真摯に努めてまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

昨年4月発行の「信州介護学校通信5号」では、大門三番町区長青木俊英様より、本校の教職員や学生に対して「礼儀正しく、身だしなみもしっかりと、清潔感にあふれ、大変好感がもてます。さすが介護福祉に携わる皆さんであると感心しています。」と、身に余るお言葉をいただきました。さらには「学校と地域がうまく連携を図りながらお互いを高め合っていくことができれば」との期待も寄せられました。本校の様子が未だ理解できていない私にとって、青木様の言葉から先学の皆さんのご労苦を思うとともに、本校の今後の有り様が示唆されるものと考えています。本当にありがとうございます。

ところで、私がかつて在職していた時の座右の銘に、島崎藤

さんち

村の次の言葉がありました。写真の「人の世に三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、みずからの体験によって得る智がそれである。」です。旧荻原小学校跡地(木曽郡上松町)にある「三智の碑」に記された言葉を拓本にしたものです。これは松樹学園建学の精神である『「強靭で高潔な人格の形成」と、専門職として習得すべき「知識、技術及び職業倫理」を育み、「知・技・心」のバランスの取れた人材育成』のための前提となるのではないかと思います。



本通信をお読みくださった皆さん、話好きな私です。どうぞ気楽に学校へ足を運んでください。先ずは私自身が皆さんと「人と交わって得る智」を深めていくことができれば幸いです。



新年度にあたり

教務主任 武井 浩子

新入生17名を迎える、4月6日より、平成27年度の授業がスタートいたしました。

介護福祉士養成校卒業生に対する国家試験導入の延期、介護報酬の引き下げ、慢性的な介護人材の不足など、介護をめぐる世の中の動きは、その多様なニーズゆえに、複雑さを呈しております。

その中でも、本校は、求められる介護福祉士として必要な「知識・技術・態度」はもとより、相手を思う気持ちを形に現す、「接遇」を大切に考え、日々の学校生活の中で実践する教育を大事にしております。また、地域包括ケアの時代、地域に溶け込み、理解・協力し合い学生生活を送ることができるのも、本校の特徴でもあります。当初は慣れないスーツ登校に肩が凝り、登下校時の挨拶も緊張と気恥ずかしさがあることだと思います。専門領域の授業内容に戸惑いを覚え、90分授業が長く感じることもあると思います。しかし、それも社会人として、また、対人援助の専門職として活躍するための第一歩となります。学生一人ひとりに対し、丁寧に向き合い、時代のニーズに応える人材の育成に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



介護現場と教育現場を通して思うこと

専任教員 芝田 由佳

超高齢社会の中、介護人材のキャリアパスにも変化してきています。専門的な知識や技術を習得するために、介護福祉士養成校の教員としての使命があります。しかし、介護現場や教職を通じて、一番に感じることは知識や技術を得るだけではいけないということです。人に興味を持ち、好きになり、他者から学ぶ事ができる人。人間的に豊かで、コミュニケーション能力がある人。学び続ける姿勢をもった介護福祉士を育てることが、介護福祉の現場を良い方向に変化させていくことになると感じます。

人材確保が急務である中、介護の質を高めるために養成校の教員として、学生と共に研鑽し、学び続けていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



新任のご挨拶

専任教員 古畠 大輔

この春から専任教員として入職しました「古畠大輔」です。

昨年度まで介護の現場で働いていました。私はこの学校の第一期生で、先生方の真剣に学生に向き合う姿勢やひたむきさに憧れています。今回ご縁があり、教員に就くことができ、とても嬉しく思っています。

介護は様々な分野から構成されており、一つひとつの科目が直接現場に繋がります。授業や実習をしていく中で、自分の介護観ややりがいを見い出せれば、介護の世界は楽しく、様々な可能性を秘めています。

介護福祉士を目指す学生さんと、楽しい事、苦しい事を共有しながら、お互いに成長できる関係を築き、「心に寄り添える介護」が行える人材を育成できればと思っています。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。



平成26年度卒業式

3月13日、塩尻市レザンホールにて、平成26年度松樹学園卒業式が挙行されました。



本校では、6期生28名が卒業証書を手に巣立っていきました。

本年は、保護者の皆様の目前で、学校長より、卒



業生一人ひとりに卒業証書を手渡すことができ、教職員にとっても、誇らしさとお別れの寂しさが入り混じり、感慨深い卒業式となりました。

平成27年度入学式

4月4日、塩尻市市民交流センターえんぱーくにて、松樹学園入学式が挙行されました。

清水校長により、信州介護福祉専門学校新入生17名の入学が許可され、本校とリハビリテーション専門学校両校の新入生を代表し、本校新入生の



小山真由さんにより、新入生宣誓が高らかに読み上げられ、厳粛な中にも晴れ晴れしい式典となりました。

接遇研修

4月1日・2日は、松樹学園恒例の接遇研修でした。今年度は日程の都合上、2会場を利用した研修となりました。



当初は緊張と戸惑いの色が見え隠れしていた学生でしたが、1日目が終了するころには、礼儀正しく、大きな声で挨拶ができるようになりました。「相手を思う気持ちを形に現す」接遇の意義・大切な第一歩を学んだ2日間でした。

卒業生 小松 綾佳さん

私は、今年の3月に信州介護福祉専門学校を卒業し、関連法人のグループホームに就職しました。グループホームは、利用者様一人ひとりと深く関わらせて頂ける場だと思います。



私の目標は、利用者様に寄り添えるサービスを提供することです。そのため、学校で学んだ知識や技術を基にし、積極的に学習や体験を重ね、私の目指す介護福祉士像に一日でも早く近づきたいと思います。利用者様の生活に寄り添い、利用者様が毎日笑顔で充実した日々を過ごせるよう、自分のケアを振り返り、研磨に努めたいです。

新入生 小山 真由さん

入学に際しての抱負は、様々なことへ積極的にチャレンジし、心身ともに成長することです。



他校で学ぶことの出来ない接遇マナーを身に付け、技術だけではない、本当の意味で必要とされる人材になりたいと考えております。



卒業する際には、皆様に頼りにしていただける介護福祉士になりたいと思います。



新入生歓迎交流会

4月3日、ヘルスパ塩尻にて、1・2年生混合チームによる新入生歓迎ソフトバレー大会を開催しました。1ゲーム10分、5チームによるトーナメント戦としました。1・2年生ともにすぐに打ち解け、決勝戦はラリーの続く、ソフトバレーらしい試合展開となりました。景品を皆で分け合い、楽しい時間を過ごしました。





平成27年度の主な行事予定

4月

接遇研修(1,2日)
オリエンテーション
(3日)
新入生交流会(3日)
入学式(4日)



5月

高齢者施設見学
(1日)
介護実習 I -④
(2年)
交通講話(13日)(1年)



6月

防災訓練①(11日)
介護実習 I -①
(1年)



7月

玄蕃まつり(25日)
期末試験
介護実習 I -①
(1年)



8月

期末試験
介護実習 II (2年)



9月

介護実習 II (2年)
介護実習 I -②③
(1年)



10月

防災訓練②(8日)
公開講座(22日)
ハロウィンしおじり
(31日)
介護実習 I -②③
(1年)



11月

介護の日イベント
(14日)
保護者懇談会(14日)
地域交流行事(26日)



12月

交通講話(3日)



1月

期末試験



2月

期末試験
卒業時共通試験



3月

事例研究発表会
(1日)
奨励賞授与式(1日)
卒業式(11日)

平成27年度
学校説明会

6月6日(土) 7月11日(土) 8月1日(土)
12月5日(土) 2月6日(土)

入試説明会

9月5日(土)

関連法人施設見学会 7月・8月開催

関連法人

医療法人社団 敬仁会



介護老人保健施設 まほろばの郷

社会福祉法人 平成会



介護老人福祉施設 福寿苑

姉妹校

信州リハビリテーション専門学校



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

〒399-0733
長野県塩尻市大門三番町4番24号
電話：0263-87-0015
Fax：0263-87-0016

信州介護福祉 |



編集後記



信州介護学校通信をお読みいただき、ありがとうございます。

今年度より、新たに学校長と専任教員1名を迎え、新体制でのスタートを切りました。
これをまた新たな契機として、より良い学校教育・地域貢献をめざしていきたいと思っておりますので、ご支援・ご指導くださいますようお願い申し上げます。